

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 運動療育型児童デイあるは

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	広い空間や個室空間を適度に活用している。	必要平米数を満たしている為特に問題はない。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	問題無し。	人員の配置は満たしているので問題ない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%	視覚での張り出しを行っています。	継続して行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	業務の引継ぎ、伝達は電子機器で行っている。	伝達に対しては反応を求めている。定期的にスタッフミーティングを取っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケートを定期的に行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	事務室内に張り出し	情報の共有、改善点は都度案を出してもらうようにしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%		今後行っていく事を検討している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	83%	17%	必要に応じて研修を行っている。	平日に時間の確保を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者様との面談の機会を半年に一度設けている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	面談にて状況確認を行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%	スタッフが交代で立案する。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	スタッフが交代で実施する。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%		タイムスケジュールを組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼を毎日行い分担を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	振り返りは終礼時に行い記録を残している。	業務日誌にて振りかえり、改善を記録する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年の1度必ず実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	83%	17%			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	参加しいた場合は情報の共有を行い記録に残している。	必要な情報の共有を行いそれを支援に繋げている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時に情報を頂く事が多い	都度状況を聞くようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて取るようにしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	同法人内での移行を考えご家族様へ提示している。	早くから生活介護への見学、体験できる時間を作ってご家族様にも見てもらうようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83%	17%	必要に応じて研修参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	67%	33%		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	67%	33%	出来る限り参加している。	書面等あれば保管、伝達している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	記録に残している	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		コロナが落ち着き次第検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明している。	必要あれば都度お伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	83%	17%	随時。相談を受けるようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	67%	33%		コロナが落ち着き次第検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	速やかに対応するようにしている。	大きな問題は事業所だけでなく法人間で対応するように体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	必要に応じて実施	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	鍵付きロッカーにて保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		送迎時など個別の時に話を聞くようにしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	83%	17%	クリーンキャンペーンに参加している。	近隣の警察の方も興味を持ちご協力いただいています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	83%	17%	年2回避難訓練を行っている。	実施内容は記録し残しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%	年4回研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	83%	17%		あれば計画書に記載している。日々の支援の中にも拘束をやむを得ずする時は記録に残している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	表を作成し周知しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎日記載して保管している	